

会 議 録

1 会議名

令和5年度第11回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項について

（2）地域協議会活動報告会について

（3）その他について

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和6年3月14日（木）午後6時30分から午後7時57分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：吉川区総合事務所

風間所長、平山次長、山本市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、玉井総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 委員 12 人の出席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：江村委員

【山岸会長】

- ・ 挨拶

【平山次長】

- ・ 議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・ 次第 3 報告事項(1)会長報告であるが、特になし。
- ・ (2) 委員報告だが、報告事項はあるか。
(なしの声あり)
- ・ (3) 事務局報告をお願いする。

【平原班長】

- ・ 6 点報告させていただく。まず「消防団の再編」について説明する。

【玉井班長】

(消防団の再編について、資料に基づき説明)

【山岸会長】

- ・ ただ今の報告に、質問、意見はあるか。

【佐藤委員】

- ・ 分団の再編成は良いが、現状の分団名だと違和感がある。分団名の変更の検討はしないのか。

【玉井班長】

- ・ 令和 8 年度の変更の中で、分団名についても検討していく。

【山岸会長】

- ・ 他にあるか。
- ・ なければ私から。団員の減少は仕方がない。実際の有事の際の活動について、団員の活動は火災発生時のみではない。先日の地震の際も積載車が巡回していた。その時

の指示は巡回までだったのか。

【玉井班長】

- ・消防団の出動基準があり、地震発生時は、震度 4 で消防小屋に集合しパトロールを実施することになっている。

【山岸会長】

- ・私が思うに、団員が減少し、地元で団員がいない所もあるが、団員がいる所は、団員は生命、財産を守ることが仕事なので、独居老人や体の不自由な方などは事前に把握しておき声掛けをしていただくとありがたいと思っている。地元の竹直の消防団にお願いしたが、顔を見るだけでも住民は安心する。要望であるが、そういうことをやっていただけないかと思っているがどうか。

【玉井班長】

- ・災害の規模にもよるが、避難しなければならない場合、例えば津波の場合では海岸部の消防団が出動し、地域の自主防災組織と連携して避難誘導することになっている。

【山岸会長】

- ・是非そのような取り組みをしてほしい。自主防災組織と消防団との連携した想定訓練をするべきと思っている。是非行政としてもそのような訓練を考えてほしい。人口減、消防団員が減少することで、訓練等を減らさざるを得ない状況は重々承知しているが、その後のフォローの手立てを考えるべきと思っている。団員数が減ったからできなくなったというのであれば、それをカバーするためのことを考えるべきであると思う。よく考えていただきたい。
- ・他にあるか。なければ続けて報告をお願いします。

【平原班長】

- ・地域づくりを考える集いについて報告する。
- ・当日は、関係者含め約 30 人が集まり、第 1 部の地域協議会活動報告会と第 2 部の特定地域づくり事業協同組合の講演をお聞きした。周知不足な点や事前準備、進行と、反省するところは多々あったが、説明や発表、また会場でお手伝いいただき感謝する。

内容については、「地域協議会だより」の記事にも掲載したのでご確認をお願いします。

【山岸会長】

- ・良い講演であったが、参集人数が少なくもったいないと思っている。ご意見ご質問

はあるか。

(なしの声あり)

- ・なければ、続けて報告をお願いします。

【平原班長】

(自主的審議事項の登録状況について、資料No.1に基づき説明)

【山岸会長】

- ・ご意見ご質問はあるか。

【五十嵐委員】

- ・資料に裏面の記載がないが。ミスプリントではないか。

【平原班長】

- ・差し替えを用意する。

【山岸会長】

- ・他にあるか。なければ、続けて説明をお願いします。

【平原班長】

(意見書に対する回答について、資料No.2-1、2-2に基づき説明)

【山岸会長】

- ・回答について、ご意見ご質問はあるか。平山部会長、いかがか。

【平山委員】

- ・意見に対する回答だなと思う。

【山岸会長】

- ・私は中山間地域に特化したところを強調したかったのだが、そこについては軽く回答されていて、想定していたがそのような回答だった。この件については今後も課題であると思っている。
- ・続いて中村部会長はいかがか。

【中村委員】

- ・このような回答だろうと思っていたが、中段以降に「退避スペースの増設や側溝整備の具体的な箇所について、関係の皆様と確認したいと考えております。」とあり、確認の意味が不明ですが、少し期待をしている。

【山岸会長】

- ・どのような対応になるのか注視していきたいと思う。

- ・他にあるか。

(なしの声あり)

- ・なければ、次の報告をお願いします。

【平原班長】

(地域独自の予算事業について、資料No.3に基づき説明)

【山岸会長】

- ・ご意見ご質問はあるか。

【五十嵐委員】

- ・三和区と板倉区が補助金額 1 千万円を超えている。どのような事業をするのか。分かっている範囲で教えてほしい。

【山岸会長】

- ・後程で結構なので教えてほしい。
- ・他にあるか。
- ・吉川区の 560 万円は 1 割持ち出しなのか。56 万円の身銭を切っているのか。
- ・続けて報告をお願いします。

【風間所長】

- ・吉川ゆったりの郷温浴設備の修理状況等について報告する。
- ・3 月中に温浴施設を再開できるように作業を進めており、周知については報道機関への情報提供や吉川区の皆さんには防災行政無線による周知を行う予定としている。ご迷惑をお掛けしているがご理解、ご協力をお願いします。

【山岸会長】

- ・ご意見ご質問はあるか。

(なしの声あり)

- ・それでは、4 の協議事項に入る。協議事項の(1)自主的審議事項について、先ほど事務局からの報告があったとおり、吉川区地域協議会が自主的審議事項として挙げているものがある。「若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について」、「尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について」、「高齢者に配慮した移動手段の確保について」の 3 つ。その他に、昨年意見書を出した「吉川区における公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」がある。我々、任期中、一生懸命審議してきたこれらの事項をここで終わりにしてしまうのも勿体ないし、

市の回答も、良かったというものではないため、次の協議会委員に引き継いでもらいたいのか、皆さんの感想を含めて順番にお聞きしたいと思う。

【片桐委員】

- ・災害時の避難。災害を無くすためにはどうしたらよいか。災害の元を絶つのか。絶てないのなら、災害が来たらどう対処するのか、今後見直していかなければいけないと考えている。

【大滝委員】

- ・私の部会は、各項目に分けて意見書を出したのに、市の回答はまとめたものとなっていた。できれば、次の委員の皆さんにも、我々が行ってきたことを、もう少し攻めてもらえればと思う。

【江村委員】

- ・3つとも大事な内容だと思っているので引き続き考えてもらえればと思う。一方で、次の方にこれをやってもらいたいというのは酷かとも思うが、自分も地域協議会委員としてこういうことを考えることが必要だと思いながら4年間過ごした。

【五十嵐委員】

- ・意見書に対する市の回答は、文書は綺麗だが、具体的に見えない。今後のことに関しては、我々の自主的審議事項は、吉川区が抱えている問題の大きなポイントだと思うので、次の方にも検討協議を行ってもらいたい。市に対しては、もっと具体的なポイントで攻めた方が良いのではと感じた。

【佐藤副会長】

- ・4つとも引き続き行ってもらいたいと思う。特に、公民館の件は今後も続く。また、高齢者の交通手段の確保についても路線バスの見直しが続くので、引き続き行ってほしいと思う。

【薄波副会長】

- ・市の回答は具体的ではなく残念であると感じた。特に、研究を進めてまいりますとなっているが、研究している段階ではないと思うので、形に現れるように進めてほしい。また、尾神岳の方は、少し期待できる文言が入っているが、確認してまいりますというところは、確認するだけではなく、整備するところまで進めてほしいと思う。4つのテーマは、一度に全部の取組は大変なので、分けて取り組んでももらえれば良いと思う。

【関澤委員】

・かつて地域協議会は地域事業費の審議を行っていた。また、地域活動支援事業も無くなり、制度がころころ変わり、なかなかついていけない。地域協議会が始まって20年経つが、地域協議会委員の認識が、地域の方にはよく理解されていない。行政も親切に、わかりやすく、車の両輪のように進めてほしいが、まだまだそうになっていない。私は、地域協議会は大切だと考えており、人口が減少して、地域が衰退しているので、そういうことを地域協議会と行政が力を合わせていかに食い止めていくかが大切だと思う。地域協議会の委員も聞く耳をもって、意見書なり、行政に訴えていくという形でやってほしい。

【高野委員】

・私たちの自主的審議は、これをもって結果として、新しい委員は、新しい方向でやってほしいと思う。

【中村委員】

・少し期待できる回答となったのは、吉川区民に行ったアンケートがあると思う。区民の方々にご協力いただき、事務局にはご苦勞をお掛けし、そして我々委員が頑張った分が、期待できる内容に繋がったと思っている。4つどれも大切な内容なので、新しい委員にも続けて審議いただければと思う。

【橋爪委員】

・高齢者部会では病院等への交通機関の確保等を審議したが、事務局から説明のあった消防団の減少の話を聞いて、私の住んでいる源地区には地元に住んでいる団員が4人で、それ以外は区外に住んでいる。火事の場合、消火に限って言えば、区外から団員が駆けつけてポンプを動かすより、頸北消防署の消防車が来る方が早いのではと思う。地域の人々の命は地域で守るような体系であるが、人間としてやるべきことはやるが、それ以上のことはできない。地域皆が高齢者になっているので、そういうことを審議する方法もあったなと考えている。新たな委員には、新たな方向性で行ってもらえればと思う。

【平山委員】

・回答を見て、子育てに力を入れてもらえそうだと感じたが、中山間にも目を向けてほしい。また、道の駅の計画づくりを進めてほしいと思う。わからない状況で委員になったので、色々勉強させてもらった。先日の報告会の時のビデオを見て、地域協議会

の任務はこういうことだったのだと思ったし、そういう雰囲気を作っていたきたいと感じた。

【山岸会長】

- ・ありがとうございました。それぞれが地域の組織や町内会などから声を聴き、思いを巡らせ、このようなことを改善してほしいという意見が出せるのがこの場所と思う。私も道の駅に関しては、議事録を見てほしいのだが、令和2年にも行政はそのように言っている。令和2年に言っているにもかかわらず令和6年にはやっていない。空洞化している。ここは地域として意見を継続して言わないとだめだと思う。令和2年からこれまで手を付けなかったが、事務所のおかげでここまで進んだと思っているが、これで終わってよいのかという方もあるが、継続協議が必要という声が多かった印象がある。私も継続していかなければ協議会として、(アンケートにより)地域の思いを再確認しているので、次の方にも受け継いでいただきたいと思う。声は常に出していくということが必要だと思っている。
- ・皆様のご意見に感謝する。4年間苦勞していただき感謝申し上げます。

【関澤委員】

- ・道の駅の活性化検討委員会を設立したが、何も報告がない。結果の報告がなく、協議会としての意見が伝わっているのか分からない。集まって話をするだけでは、何をやっているのかと思っていた。

【山岸会長】

- ・報告がないと言われたのは、私が報告をしなかったためである。お詫び申し上げます。検討委員会を開催しているが、具体的には進んでいない。令和8年度から具体的に整備をすることになっている。

【関澤委員】

- ・誰が主体となってやっているのか。

【山岸会長】

- ・我々は地域独自の予算事業で大乘寺の歴史伝承事業を提案した。それは道の駅の活性化につながる事業として提案している。それを行うにはモニターテレビや看板を設置して欲しいとしたが、道の駅は市の施設のため市で予算要求するというところで期待しているがどうなるかは不明である。だからこそ提案事業が必要と思っている。吉川区でこういうことをやってほしい、予算をつけてほしいという事業提案ができ

たはずだが、誰かがなくしたのです。地域政策課ではないのかと思っているが、どうして権限があったものを無くしたのか。独自の予算ができたために無くしたという報告があったが、誰が無くしたのかと思っている。委員の皆さんはそれぞれの考えがあると思うが、道の駅だとするとアンケート調査にもあったが、吉川区の皆さんは大事に思っているので、予算を投入していただきたい。今となつては歴史伝承事業に期待するしかないと思っている。民間でできることは民間でやって、行政も動いていただけるように推すしかないと思っている。あらゆる面で声をあげていかないと何も変わらないと思う。ただただ公の施設がなくなるばかりで、どんどん絞られていく。我々の権限も無くなっていく、協議会も無くなるかもしれない。気をつけなければならぬ。そのように思う。

・他にご意見等はあるか。

【風間所長】

・今の件だが、自主的審議事項については、継続していくところになるということか。

【山岸会長】

・そういう事でよろしいが、私も4期（地域協議会委員を）やっているが、前期の正副会長と次期正副会長との引継ぎをしたことがない。全戸アンケートは重いものと思っているし、それだけの自信をもって次の委員に申し送るものと思っているため、継続審議でお願いしたい。

【風間所長】

・分かりました。

【山岸会長】

・では次に、(2)その他についてに入る。「地域協議会だより」について、事務局説明を願います。

【平原班長】

- ・今期最後の発行となる「地域協議会だより」の編集について説明する。五十嵐委員、江村委員、大滝委員に編集委員をお願いし、編集作業を行った。
- ・直近の協議会の活動と、委員の皆さんから原稿をいただき、4年間の活動を振り返った感想を掲載する紙面とした。原稿執筆、確認作業に感謝する。
- ・お手元に配布したものが、第2稿となる。お気付きの点があれば、ご意見をいただきたい。

【山岸会長】

- ・原稿の提出に感謝する。ご意見、修正等はあるか。

(なしの声あり)

- ・無いようなので、事務局お願いします。

【平原班長】

- ・これをもって最終稿ということによろしいか。

(了承の声)

【山岸会長】

- ・それでは、これで発行をお願いします。

【風間所長】

- ・会長、先ほどの五十嵐委員からの質問についてであるが、回答してよいか。

【山岸会長】

- ・お願いします。

【風間所長】

- ・板倉区と三和区の独自予算事業の内容についてである。板倉区は6事業で10,537千円、大きな事業としては「上越自転車まつり」光ヶ原高原ヒルクライム・上越里山ライドで3,015千円、板倉里山彩花事業で3,215千円、ベースキャンプ in 光ヶ原高原事業で3,075千円である。
- ・三和区については、10事業で15,772千円。大きな事業は、谷内池の環境保全とオニバス再生プロジェクト事業で6,995千円、高校生の通学支援事業で2,940千円、林富永邸一般公開応援事業で2,076千円、さんわ桜の陣で1,073千円、他100万円以下の事業があり、全10事業となっている。

【五十嵐委員】

- ・ハード事業は入っていないのか。

【風間所長】

- ・ハード事業については要綱上、補助対象ではないことになっている。

【山岸会長】

- ・その他の協議事項について、委員の方から何かあるか。

(なしの声あり)

- ・それでは、「5 総合事務所からの諸連絡」についてお願いします。

【平原班長】

- ・2点、連絡をする。1点目、頸城区、大湊区地域協議会から「たより」の提供があり、各委員に配布させていただいた。
- ・2点目、3月21日、木曜まで、次期地域協議会委員の応募を受け付けている。引き続き、委員をお引き受けいただける方、お近くで委員を希望される方があれば、総合事務所にお問い合わせ、ご応募いただくようお声がけをお願いしたい。

【山岸会長】

- ・連絡事項について、質問や意見はあるか。
(なしの声あり)
- ・それでは「次第6 その他」について、委員の方で何かあるか。
- ・私から願います。4区の正副会長会議を行ってきた。会則を作成し各區で検討していただいている。その後回答はないが、4区の会長副会長の連絡会は継続して行ってほしいと思っている。新しい委員に変わっても頸北という地域で共通課題もあるので継続してほしいと思っているが、皆様からそれについてご意見をいただきたい。

【関澤委員】

- ・頸北4区の正副会長会議だが、月に1回など定期的に行っているのか。それとも懸案事項があった時に開催するのか。

【山岸会長】

- ・開催は不定期。各區での協議会の活動は違っているが共通することもある。他の區の意見を伺うことができる。以前も独自予算について研修会を行った。あの時も正副会長会議で協議して実施を決定した。今まで4區での持ち回りの研修会を行ってきたが、その他にも研修などができるようになる。今年度は1回も全体の会長会議を行っていない。先日も4區の正副会長会議で研修会の開催要望がまとまり、地域政策課へお伝えしたが、今期は予定しないという回答だった。独自の予算を含めて行政に伝えたいことがある。

【関澤委員】

- ・(会長会議は)年に1回実施するという決まりを作った方が良いのではないか。

【山岸会長】

- ・事務局、会長会議は条例に載っているのか。

【風間所長】

- ・条例に会長会議は規定されていない。地域協議会委員については記載がある。会長会議は地域政策課が、説明したいこと、意見を伺いたい時がある場合に招集して開催する。

【山岸会長】

- ・そのようなことなので、行政側の招集により開催する。町内会長連絡協議会は上越市の会長がいる。そのような形で28区の地域協議会長会を作れば、逆に開けるということになる。そのようなことをしないと現時点では地域政策課から招集がないと開催されない。今回は（招集がないため）開催しない。

【関澤委員】

- ・必要だと思う。他の地域協議会からも開催要望があることは（山岸会長）会長の所に伝わっている。一人だけではなく5人くらいで聞きたい内容を伝えれば開催できないものか。そのような制度改正をしていただきたい。

【山岸会長】

- ・他に意見はないか。継続していくべきと思うが異議はないか。

（なしの声あり）

- ・では、次期委員に継続をお願いします。
- ・他にその他の件はあるか。

【平原班長】

- ・先日行われた「新酒と料理を楽しむ会について」報告する。参加者は165人の申し込みがあり、当日は160人が参加した。区内、区外の割合は6対4の割合。新酒の袋絞りは、多くの参加者が写真を撮っていた。古今亭ぎん志の落語は「時そば」で、尾神そばをすすりながらの「時そば」は特別であったという参加者の声があった。

【山岸会長】

- ・他にあるか。なければ、これで最後となる。4年間ありがとうございました。最後の閉会の挨拶を薄波副会長からお願いしたい。

【薄波副会長】

- ・今日で最後協議会となる。4年間の長きにわたり協議していただき感謝申し上げます。また、この間支えていただいた事務局に感謝申し上げます。4年間、短かったと思うが、活動の成果は3月2日に活動報告会の資料に纏めてあるが、なかなか満足のいく結果にはならなかったが、結果は残っているので後程見返していただきたい。4年間を振り

返ると色々な事があったが、その場その場で最大限の議論を尽くせたかと思っている。皆さんは4月末で任期が終わるが地元に戻られても、この吉川区を活力ある、魅力のある地域づくりの活動をしていただければと思っている。最後になるが、皆さんの益々の活躍を祈念して最後の閉会の挨拶とさせていただく。皆さん4年間ありがとうございました。これをもって第11回吉川区地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

Tel:025-548-2311 (内線 213) E-mail:yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。